



R.I. DISTRICT 2500 THE ROTARY CLUB OF KITAMI WEST 北見西ロータリークラブ会報

2024～2025年度クラブテーマ

《明るく・楽しく・元氣よく

広げよう親睦の輪！深めよう絆！育もう奉仕の精神！》

こころ



■創 立 日 昭和46年 4月29日 (1971/4/29)
 ■承 認 日 昭和46年 5月27日 (1971/5/27)
 ■例 会 場 所 ホテル黒部 (7条西1丁目)
 TEL 23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事 務 局 TEL 25-2824

■会 長 西村 清一 ■会長エレクト 松井 順仁
 ■副会長 山本 英敏 ■幹 事 迫田 圭太

第2500地区ガバナーテーマ

「ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために」

第2531回例会

2025年 6月12日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

各 委 員 長 退 任 挨 拶

会長・幹事

第2530回 例会記録

2025/6/5

会長挨拶

西村会長



皆さん、大変お疲れ様でございます。今日もたくさんのメンバーにお越しをいただきまして有難うございます。それと久しぶりに佐々木（優）会員が顔を見せていただきました。楽しんでいてください。

先週の例会でサプライズがあって、花束を既にもらってしまったので少し気が抜けているところなのですが、あと今日を入れて3回の例会がございますので精一杯頑張っていきたいと思えます。ちょうど昨年の今頃を思い返すと、新年度に向けての準備で一番大変な時期だったと記憶しています。次年度の会長、幹事も大変な思いをしながら日々過ごされているのではないかと思います。この1、2か月間が1年を決めると言っても過言ではない大事な時間かと思えます。是非有効に使っていただき素晴らしい船出をしていただきたいと思います。

話は変わるのですが、ある件で私悩んでいる事がありまして、以前当社の全社会議のなかで社員に向けて話した例え話を思い出しました。それをご披露させていただこうと思ひ、少しお時間をいただきたいと思います。鴨と老人の話なのですが、「ある冬大変厳しい寒波に襲われた湖が凍ってしまい鴨の群れは餌をついばむ事が出来なくなりました。近所に住んでいた優しい老人が見かねて、餌を撒いてやったので鴨は飢えをしのいで一冬を過ごす事が出来た。ところが春が来ても鴨の群れは帰っていかずしめない。老人の餌付けで鴨はそこに居付いてしまった。老人は益々鴨が可愛くなって、春が来ても夏が来ても餌を撒いてやった。何年か経ち、又大きな寒波が来て湖面が凍った。

あいにくその冬、あまりの寒さに老人は亡くなってしまいました。誰も餌を撒いてくれる人がいなくなったため、餌を捕る術を忘れてしまった鴨は全部死に絶えてしまった。」このようなお話です。湖が凍って、餌が捕れない哀れで可哀そうな鴨に餌を与えて助けてあげる事は相手を溺愛する小さな愛情。つまり小善なのです。仏教では小善は大悪に似たりと言います。小さな愛情、いい加減な愛情というものが大悪を成すと言う訳です。善だと思ふ事が実は大悪を出している場合はいくらでもあります。愛情は大善でなくてはなりません。大善は非情に似たりと言うように、大善というものは愛情のかけらも無いように見える時がありますが、しかし相手にとって厳しさをもって対応する事が将来の

天気 ☁️ (例会時) 最高気温 20℃



昼 食

幕の内弁当

焼物 焼き魚 焼売 海老天ぶら
 アボカドとサーモンのあおさ醤油和え
 鶏の塩麴蒸し サラダ仕立て
 炊合せ トマト饅頭 小茄子 南京 麩
 ご飯 香の物 味噌汁
 デザート コーヒー

ニコニコボックス 村上親睦活動委員

内藤会員

何か良い事がありますように。

佐藤(卓)会員

先週は、取引先の招待で、沖縄旅行に行ってきた。時を忘れてリフレッシュ出来ました。

海田会員

北見地方法人会の会長を辞しました。無事任期を全うし、ほっとしています。

相手のためになるのです。厳しさとは強い信念と深い愛情の表れでなければなりません。果たして、今抱えている問題に対して自分がとろうとしている行為は小善なのか大善なのか、自問自答しているところです。そして、ロータリーの奉仕活動も、どちらの善なのかをよく考えながら活動しなければ不幸を招きかねないかもしれません。そのような内容です。優しさを振る舞う事が果たしてその人のためになるのかどうかというような例え話なのですが、以前も小善は大悪なり大善は非情に似たりという話も一時させてもらったこともあります。自分の肝に銘じて今抱えているちょっとした件があるのですが、それが果たして相手のためになるのかどうか、これからも自問自答しながら行動していければと思っていますところです。

さて、本日の例会は役員、理事の退任挨拶となっております。1年間の活動を踏まえながら挨拶をしていただければと思います。

短い時間ではありますが、楽しく実のある例会でありますことを念じ、例会冒頭の会長挨拶とさせていただきます。有難うございました。

会長報告

西村会長

本日、奨学生のリマルサ・ハニンナコンサ・マルゴノさんにお越しいただいておりますので奨学金をお渡しいたします。



■ 6月の誕生祝 佐藤(卓)親睦活動委員

角田会員、富田会員、紺野会員、水上会員



■ 6月の結婚祝 佐藤(卓)親睦活動委員

西村会長、佐々木(茂)会員、紺野会員、市村会員



幹事報告

迫田幹事

- 1) 本日の現新理事会は18:00に万代様で開催致します。
- 2) 今年度の活動を終えられた委員会におかれましては、活動報告書を作成のうえ本日までにご提出をお願い致します。
- 3) 6月の例会変更のご案内を配布しておりますのでご確認をお願い致します。
- 4) 先週開催されましたクリーン作戦におきまして、山口委員長はじめ多くの会員の皆様にご協力賜り誠に有難うございました。
- 5) ライオンズクラブ様の第71回地区年次大会に西村会長が参加されお礼状が届いている事をご報告致します。
- 6) 6月のロータリーレートは144円です。

委員会報告

近江次年度幹事

- 1) 本日レターボックスにクラブ協議会のご案内を対象者に配布させていただきました。田中栄治ガバナー補佐が6月にいらっしゃいます。6月12日(木)18:00から黒部様にてリハーサルを行います。出席義務者のご参加を宜しくお願いします。本番は19日(木)15:00からとなっております。オブザーバーとして10名の新入会員も参加いただきたいと思います。
- 2) パスト会長会のご案内を入れさせていただきました。対象の方は7月3日(木)黒部様となっておりますので宜しくお願いします。

**西村会長**

2024-25年度に会長を務めさせて頂き、大変勉強になった一年でした。

北見西RCの会員の皆様のご協力の下、浅学菲才な会長を支えて頂きました事、衷心より感謝申し上げます。

本年度、会長方針として至極単純なテーマ・方針を掲げさせて頂きました。それは、原点回帰すべき過渡期にあると感じており、西RCの灯を灯し続ける事を第一に考えたテーマでした。

利害関係がないとは言えませんが、その事を前面に出す事は決してあってはならない奉仕団体にとって、何よりも大事にしなければならないのは、「楽しい」と思える「こころ」そして明るく、元気に活動している会員の「笑顔」ではないかと常々思っておりました。楽しい場所（ところ）には人が集まり、人が集まるところは、賑わいが醸成し、活性化し、魅力が自然と発生する筈です。正しく、原点に立ち返り、「明るく・楽しく・元気よく」を体現する一年にしたいとの思いで掲げたテーマでした。

その魅力が公共イメージの向上にもつながり、知名度も上がり、入会者が増えてくるものだとの確信をしておりました。

だからこそ、今年一年は、西RCの足元を固め、地盤を強固にして、魅力あるクラブづくりの一年にしたいと考えました。

その為の最重点目標として、

1. 会員増強10名以上
2. 出席率向上のための施策（目標出席率88%）
3. 例会内容の充実
4. より親睦を深めるための例会企画
5. IMの企画・運営

■会員増強10名以上については

何よりも会員増強が最優先項目であり、クラブを継続的に存続する為には、若い人が入会しなければ、5年後・10年後のクラブの将来像は描く事は出来ない。若い会員が増え、新たな考えや発想を以て、この先のクラブを背負っていく人財づくりをしていかななくては、クラブはいずれ消滅してしまうという危機感を会員皆さんに気付いて貰う事、そして、精力的に若手の会員を増やす事が如何に大事であるかを知って貰う為に会員増強10名以上と謳いました。その任を受けて貰い、高田委員長・小泉（ユ）副委員長には、大変な苦勞を強いてしまい乍らも目標を達成する事ができたのは、同じ目標に向かって楽しく突き進めたからだと思っております。何度も何度も打合せをし、入会者リストを作り直し、対象者とコンタクトを取り、勧誘に走った成果ではないかと思えます。本当に1年間ご苦勞をお掛けしました。感謝！

■出席率向上については

出席率が低迷している現状を見て、何か策を打たなければ、退会者が数多く出るのではないかと懸念しておりました。出席率を上げる事を連呼する事で、当事者意識を持っていただき、例会に参加する責務を感じて貰いたいと思っておりました。ロータリアンの責務として例会に出席する事が第一義的にあります。折角入会し、多くのメンバーと会う事ができ、情報交換を計り或いは人生の先輩との会話をし、大きな「きづき」を持つ事ができる例会場は、宝の山という事を知って貰いたい。出席率88%と目標を立て、そこに向けて出席委員会石田委員長をはじめ、メンバーの方には例年以上に出席率に敏感になって貰い、メイクアップ等の管理をして頂き、結果目標値をほぼクリアする事ができたように思えます。真剣に取り組む事で自ずと結果はついてくるものだとの確信を致しました。石田委員長、大変ありがとうございました。感謝！

■例会内容の充実

この項目については、出席率にも大きく関係してくることで、例会内容が充実していなければ、例会に参加する会員が減少する事は目に見えています。会員皆さんが興味を持ち、何かを持ち帰れるような例会内容でなければなりません。その為には、担当委員会が真剣に例会企画を考え、会員皆さんに喜んで貰いたい「おもい」或いは、楽しんで貰いたい「おもい」更には、会員の「ため」になる例会開催への「こだわり」を持つ事で、会員皆さんの興味を惹き、自ずと例会に足を運んでいただける一年であって欲しいと願っておりました。

ロータリーの魅力は「自分磨きの旅」を経験できる事。「人生の道場」と米山梅吉氏も言われています。すべては「例会」にあり。本年に於いては、どの委員会も例会に真剣に取り組み、実のある内容で開催頂いたと思えます。結果、出席率向上にも繋がったと思えます。各委員会に感謝！

■より親睦を深めるための例会企画

親睦活動委員会には、大変辛い1年ではなかったでしょうか？予算は大幅に削られ、その中で親睦を計れる例会を開催して欲しいと言うミッションに応えるべく、企画を練り、予算を掛けずに会員皆さんに喜んでいただける例会を作り上げて貰いました。「ロータリーは、親睦ありき」と歴代の会長からバトンを渡され、見事に完遂された今井委員長率いる親睦活動委員会に心より感謝申し上げます。そして皆さんの笑顔に感謝！

■IMの企画・運営

素晴らしいIMと評価を頂いたイベントではありましたが、陰で昼夜を問わずご苦勞された佐藤幹事には、頭が下がります。開催1年半前に実行委員会を立ち上げ、長期間渡り協議を進める中で、紆余曲折はあったものの終わり良ければすべてよし！クラブの仲間たちと共に同じ目標に向けて一生懸命に企画、準備そして運営すれば事業は成功し、皆でその達成感を共有できると信じておりました。

今年度入会を頂いた新入会員皆さんの活躍も目を引くものがありました。新たな発想・企画と大いに懇親会の場を盛り上げて貰いました。全会員が与えられた責任を果たそうと必死に知恵を出し、行動に移し、そして松浦ガバナー補佐のためにクラブが一枚岩になった姿をみて大きな感動を頂きました。

素晴らしいIMを開催できたことに心から感謝いたします。

長い一年ではありましたが、無事に帰港できたのも、会員皆さんのご協力とご理解の賜物であり、感謝・感謝の一年でした。特に迫田幹事には、辛くあった事もあり、腹をくくって幹事職を全うして欲しいと苦言を呈したこともありましたが、こんな面倒な会長に一年間、付き添って貰い、感謝しております。そして、いつも助言をいただいた事務局の藤田さんには、会運営として心もとない会長・幹事ではありましたが、一年間お支え頂き、有難うございました。

一年間、ご協力を頂いた全会員の皆さんに心から感謝申し上げます。有難うございました。

そして、最後に渡辺和勇先輩・菊池芳雄先輩、いつまでも北見西ロータリークラブを見守っていて下さい。

合 掌

松井会長エレクト兼クラブ奉仕委員長、山本副会長兼米山記念奨学委員長、近江副幹事兼会計、棧会場監督、三浦職業奉仕委員長、佐藤（尊）社会奉仕委員長、紺野国際奉仕委員長、小嶋青少年奉仕委員長、迫田幹事より退任の挨拶がありました。紙面の都合上割愛させていただき、次週の会報にて迫田幹事の退任挨拶を掲載予定です。詳細は7月配布の「活動計画書」に記載されます。



■ 例会予告	6 月 19 日	最終夜間例会	親睦活動委員会
	6 月 26 日	特別休会④	
	7 月 3 日	役員・理事就任挨拶	会長・幹事

出席報告		内藤出席委員						
	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メークアップ (E)	事後メークアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	6 月 5 日	64 (休会者 3名)	10	48	6	0		80.0%

※但し、休会者 3 名を含む総数は67名です。